

ホタテガイ養殖管理情報

稚貝分散が遅れるとへい死率や異常貝率が高くなります
新貝の体力を回復させるためにも稚貝分散作業を優先しましょう

1 海況

10月23日時点の陸奥湾の中層（10～15m層）の**日平均水温は全地点で20℃を下回っています**（図）。詳しくは、陸奥湾海況情報や海ナビ@あおもり（下記URL、QRコード）をご覧ください。

2 稚貝の状況について

10月15日から18日に湾内7地点で中段1段の**未分散稚貝**の成育状況を調査しました（表）。地点によって平均殻長やへい死率が大きくばらついています。各施設の状態（水深、錘、立ち切り、入れ枚数等）によって異なっている可能性があり、11月5日から8日に予定されている秋季養殖ホタテガイ実態調査でより多くの地点のデータを検証する予定です。

3 稚貝分散作業時の注意点

- 今年が高水温期間がかなり長く、**稚貝は疲弊した状態**であると考えられます。**貝の体力回復の目安となる「フチがまわっている」ことを確かめてから作業**しましょう。
- 1段当りの**収容枚数が多いと成長悪化やへい死につながる**ので、養殖方法に応じた**適正な収容枚数（1段当り10～20枚）**を心がけて作業してください。
- **稚貝は乾燥にも弱い**ので、手早く作業を行いましょう。
- 流れによるぶつかり合いで、外套膜（ヒモ）が傷ついてへい死しないように、**ネットにはオモリをつけましょう**。また、流れが速い場合は、作業を控えましょう。
- 作業終了後は波浪によるぶつかり合いを防ぐために、**施設を浮かせず**にしないようにしましょう。
- **稚貝分散が遅れるとへい死率や異常貝率が高くなる**ことが分かっています。そのため、フチがまわり稚貝分散を開始できる施設から順に効率よく作業を行い、できる限り早めに終わらせるようにしましょう。

4 新貝の作業の注意点

現在の水温は、新貝の作業開始の目安となる20℃を下回りました。しかし、今年が高水温期間がかなり長く、**新貝も疲弊した状態**であると考えられ、そのような状況で新貝の作業（玉付け・籠替え・掃除）を行うと、**へい死率や異常貝率が高まる可能性**があります。そのため、すぐには作業を行わず、回復させる期間を設け、**貝の体力回復の目安となる「フチがまわっている」ことを確かめ**てから作業を開始してください。

新貝の体力回復を待ちつつ、稚貝分散を早くに終わらせるためにも、稚貝分散を優先して作業しましょう。

表 未分散稚貝の成育状況

調査場所		幹綱水深	稚貝採取		パールネット	錘	立ち切り	夏季の	生貝数	死貝数	へい死率	異常貝率	サンカクフジツボ	平均殻長	
	調査月日	(m)	月日	篩目合(分)	目合(分)			玉付け	(枚)	(枚)※	(%)	(%)	付着数(個/稚貝)	(mm)	
西湾	A	10月17日	25	7月10日	2.5	1.5	100匁	あり	なし	75	5	6.3	0	0.5	20.9
	B	10月15日	20	7月10日	1.5(チョウチン)	1.5	75匁	あり	なし	175	147	45.7	0	3.3	17.4
	久栗坂実験漁場	10月17日	35	7月18日	2.5	2	コクリ2kg	あり	なし	39	0	0.0	0	3.0	27.8
東湾	C	10月18日	20	7月13日	2.5	1.5	50匁、1段太枠	なし	9月23日	115	7	5.7	0	0.06	18.1
	D	10月17日	26.5	7月7日	不明	2	100匁、1段太枠	あり	9月3日	126	22	14.9	0	4.0	26.1
	E	10月17日	35	7月7日	2	2	100g	なし	なし	216	4	1.8	0	1.3	23.5
	川内実験漁場	10月15日	23	7月25日	2.2	2	コクリ2kg	あり	なし	48	6	11.1	0	0.7	23.7

※成長後の死貝数

発行元：地方独立行政法人

青森県産業技術センター 水産総合研究所

住 所：青森県東津軽郡平内町大字茂浦字月泊10

TEL：017-755-2155 FAX：017-755-2156

水産総合研究所ホームページURL：https://www.aomori-itc.or.jp/soshiki/sui_sougou/

ホタテガイ採苗速報 携帯電話用QRコード (①)

海ナビ@あおもり 全モバイル端末共用QRコード (②)

ほたてナビ スマートフォン用QRコード (③)

①



②



③

